

## ■ 会計別予算額

会計名	予算額	対前年度増減率
一般会計	246億 0万円	△ 6.5%
特別会計	130億 2,830万円	△ 1.4%
国民健康保険事業	55億 6,080万円	△ 3.4%
後期高齢者医療事業	8億 3,570万円	1.8%
介護保険事業	62億 6,500万円	△ 1.0%
介護サービス事業	2,900万円	10.3%
多和診療所事業	1,500万円	45.6%
津田診療所事業	1億 2,500万円	14.7%
観光事業	1,600万円	190.9%
共通商品券発行事業	1億 460万円	0.0%
建設残土処分場事業	7,720万円	50.2%
企業会計※	76億 2,200万円	3.6%
下水道事業	23億 8,594万円	12.9%
病院事業	52億 3,606万円	△ 0.1%
合計	452億 5,030万円	△ 3.5%

※企業会計の予算額は、予算規模を表示しています。

## 用語説明

### 歳入

#### 自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源  
(市税や使用料、手数料など)

#### 依存財源

国や県から定められた金額を割り当てられる収入  
(地方交付税、国・県支出金、市債など)

### 歳出

#### 義務的経費

法令などによりその支出が義務付けられ、任意に削減できない経費  
(人件費、扶助費、公債費)

#### 投資的経費

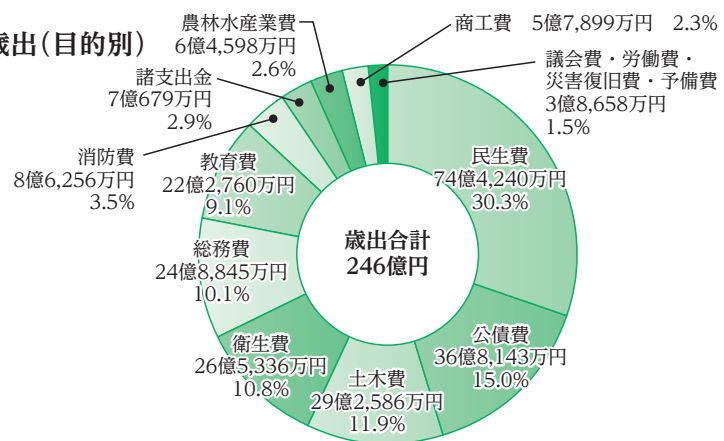
道路や施設などの整備に使う経費  
(普通建設事業費、災害復旧費)

#### その他の経費

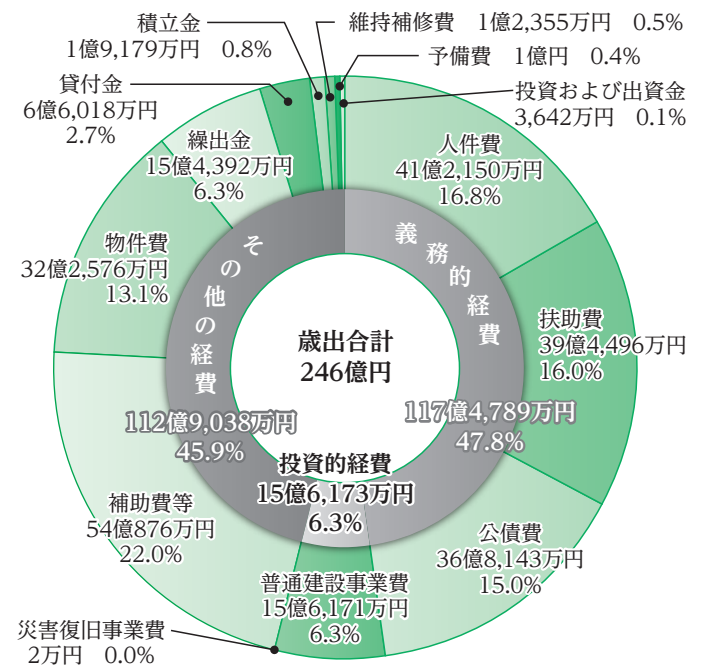
上記以外の経費  
(物件費、補助費等、繰出金など)

【問】政策課 ☎(087)894-1112

## ■ 歳出(目的別)



## ■ 歳出(性質別)



歳出のうち、人件費は、会計年度任用職員の期末手当の支給月数引上げ等により1,021万円(0.2%)の増、公債費は、定時償還元金が増加したこと、2,860万円(0.8%)の増となり、義務的経費全体では、6,347万円(0.5%)増の117億4,789万円となっています。

投資的経費については、弁天雨水排水ポンプ場改良事業等を新たに計上したものの、強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業や防災行政無線整備事業、民間保育所施設整備費補助事業等の事業費が皆減となったことなどにより、全体で17億2,299万円(52.5%)の減となりました。

### その他の経費(45.9%)

112億9,038万円

- 補助費(22.0%)  
54億876万円  
各種負担金・補助金、報償費など
- 物件費(13.1%)  
32億2,576万円  
各種委託料、消耗品・備品購入費など
- 繰出金(6.3%)  
15億4,392万円  
各特別会計への繰出金

### 投資的経費(6.3%)

15億6,173万円

- 普通建設事業費(6.3%)  
15億6,171万円  
雨水排水ポンプ場改良事業、公民館整備事業、長尾小学校改築事業など